

五島市久賀島地区定置網漁業ビジネスモデル計画

【策定：五島市雇成型漁業ビジネスモデル構築推進・普及会議】

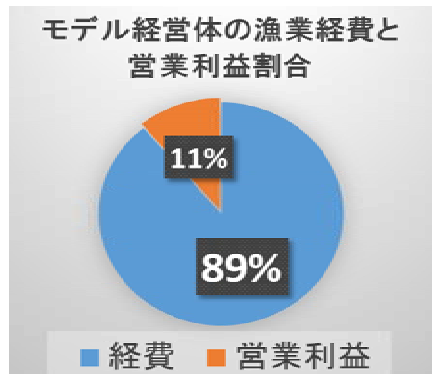
背景

五島地域において、定置網漁業は一般漁業における総水揚量14,874 tの約44%(6,552 t)を占める基幹産業であり、雇成型漁業として島内水産業において大切な役割を担っている。魚価低下・水揚量減少など、水産業界において多くの課題が残る中、限られた資源を有効に活用し、観光など新しい分野から収入を得る収益性の高い漁業モデルを確立する必要がある。

課題



1. 漁獲量の減少



2. 経費の割合が高い経営



3. 労働力の不足

- ・餌資源の減少による漁獲量減 (H20 147 t H26 116 t)
- ・片口片落しの定置網構造のため漁獲機会を失っている現状

- ・定置網漁業は網の補修・洗浄作業にかかる経費が高く、経費を削減できる新しい経営を行なう必要有り

- ・島内外から漁業就業者を確保できても長続きしないケースが多く、魅力的な雇用条件を確立する必要有り

取組の方向性

漁獲量の増加と「獲れる魚を高く売る」、「観光など新たな分野からの収入を確保する」をテーマにモデル計画を実施する。

計画内容

改良型定置網の導入

- ・片口構造から両口構造へ改良
漁獲量を約 1.2 倍に向上
- ・箱網の目合い拡大
漁獲物選別作業簡易化・労力削減
- ・未利用魚の活用(カンパチ種苗)

直接販売体制の強化

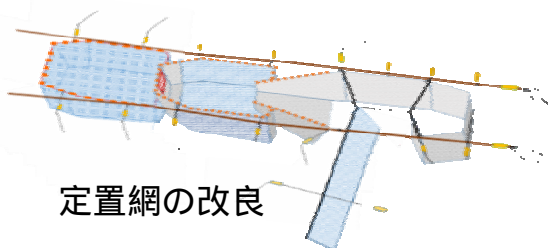
- ・インターネットを利用した直販体制の強化
ネット販売・直売店舗の売り上げ増

観光定置の展開

- ・修学旅行生対象の観光定置を展開
年間120名の呼び込み

雇用条件の改善・確保

- ・就業時間の削減等労働条件の改善
- ・豊漁時の特別手当の支給
従業員の安定的確保
～ 部分で県支援事業活用予定



インターネットを利用した直販



観光定置体験

～ 地域を牽引するビジネスモデルへ ～

- 収益性の向上
- 安定した経営体制の確立
- 労働環境改善と雇用の確保

KPI (重要成果指標)

	基準年(直近3年平均)	H31(目標年)
○付加生産額 (営業利益・人件費・減価償却費)	3,706 万円	5,441 万円
○雇用者数	6 人	8 人